

2023 年度事業計画

◎基本方針

国民の健康寿命の延伸に歯科医療が注目されている。同時に少子高齢化が益々加速していくといわれる現在、歯科技工士会においては、これらの社会環境の変化も視野に入れた事業・政策が求められていることから、これまでの取り組みを検証し、継続と不足を改善しながら、歯科保健医療に関わる専門職として、関係団体との調和を目指し、引き続き課題解決に向けて積極的に活動する。

1. 第2次中長期総合計画の継続検討と策定

- 第2次中期総合計画の基本理念をもとに、急速に変化する社会状況の中で、具体的施策の検討を進めていく。
- 策定された計画は、組織の機関決定を経て、地域組織と実現に向け一体となって活動する。

2. 公益社団法人として円滑な会務運営

- 公益目的事業と各事業部門の事業内容、予算等の整合性をはかり、堅実に執行する。
- ICT やオンライン等を積極的に活用し、これまでの常識にとらわれず、合理的会務運営に徹する。
- 地域組織と情報を共有し、会員が組織活動に一体感をもてる会務運営に努める。

3. 歯科技工士の環境整備に向けた新たな展開

- 歯科技工士の環境整備には、組織拡充は必要不可欠であることから、喫緊の課題として危機感をもってあらゆる対策を検討する。
- 歯科技工士の環境整備に向けた国の検討会、調査研究、受託事業に積極的に関わり、目的達成のために役割を担う。
- 引き続きの課題である「製作技工に関する費用の考え方」「歯科技工士基礎教育の年限問題」また、そのほかの諸課題についても、関係団体と協調、連携して実現に向けて戦略的に取り組む。

なお、急速な社会状況の変化に伴う歯科技工士を取り巻く課題は多岐にわたり、迅速な対応が求められるが、各々の事業の本質を見極め、現世代、次世代の礎となる活動を積み上げ会務運営にあたる決意である。